

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

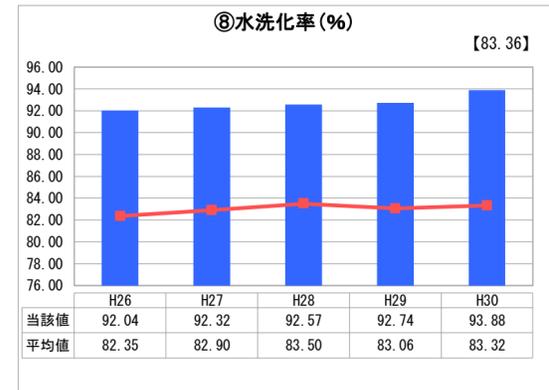
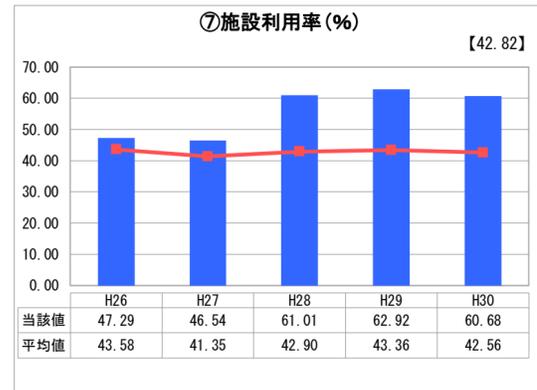
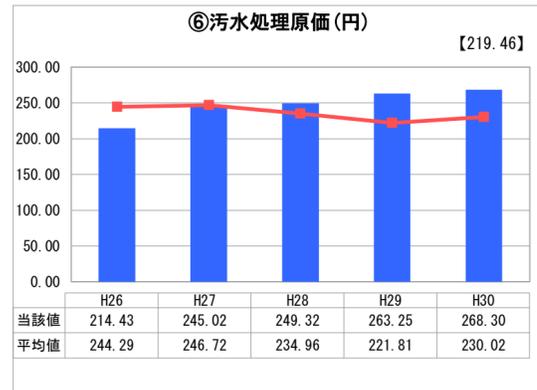
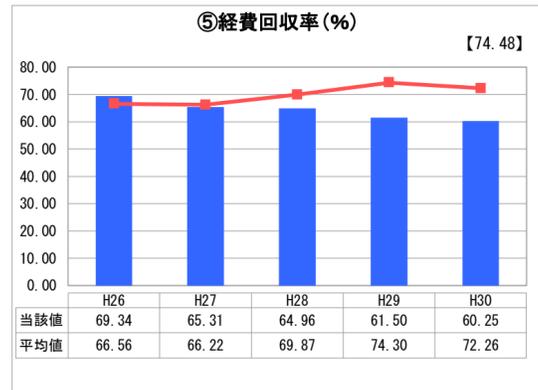
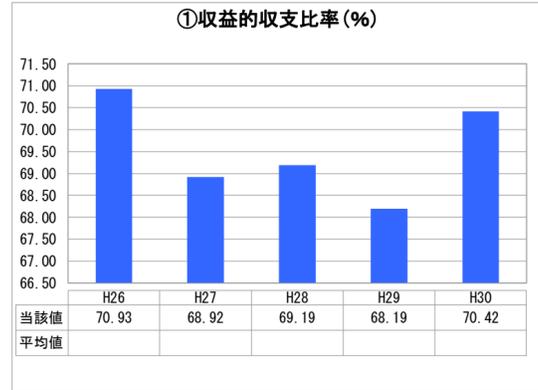
兵庫県 宍粟市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	32.82	78.67	2,698

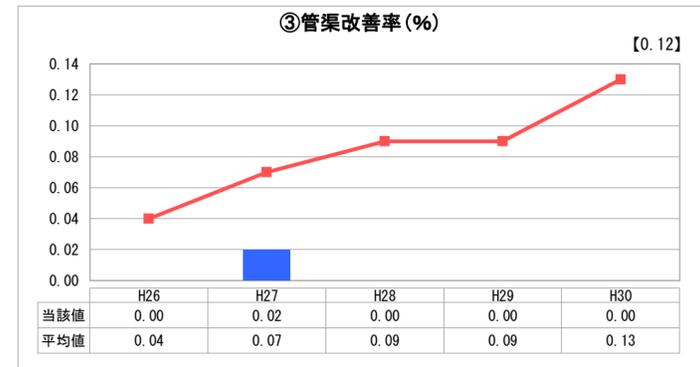
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
38,013	658.54	57.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,376	8.17	1,514.81

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率については、企業債償還金が増加したが、支払い利息の減少等により前年度比2.23ポイント増となった。

・経費回収率は、使用料収入に比べて、汚水処理費用が多いため、類似団体の平均値と比べて下回っている状況となっている。

・収入の不足分については、資本平準化債の発行や他会計からの繰入金で賄っている状況であり、分析を踏まえて、適切な使用料の設定など、運営体制のあり方や今後の投資のあり方を見直し、健全運営につなげる必要がある。

・企業債残高対事業規模比率については、類似団体の平均値と比べて若干低い傾向となっているが、今後、資金不足に対する資金調達として資本平準化債を発行していることから企業債残高が多くなる可能性があると考える。

・汚水処理原価については、類似団体の平均値より高くなっており、今後施設の統廃合や長寿命化により、汚水の維持管理費の縮減に努める必要がある。

・水洗化率は、各施設の供用開始から年数が経過していることが要因で、年々わずかの向上にとどまっている。今後さらなる向上のため、水洗化へのPRが必要である。

### 2. 老朽化の状況について

・供用開始後20年以上が経過している施設があるなど、処理施設及びマンホールポンプ等の老朽化が進んでいるため、修繕料が年々増加傾向にある。

## 全体総括

経費回収率は、類似団体の平均値と比べて低く、他会計からの繰入金への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や施設の統廃合を含めた今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減、水洗化率の向上等の見直しが必要である。また、令和2年度から地方公営企業法の財務規定適用により、財務状況及び経営状況の透明化・明確化を図り、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。